

研究・実践交流会：研究発表

2020 コロナ禍における、一連の流れと今後への展望
(オンラインによる交流の活発化と、将来的な見解)

山西敏博

(公立 長野大学)

1. 発表の概要

本発表では、2019年度より世界的に猛威を奮った新型コロナウイルス(COVID-19)がもたらした脅威の経緯と、それに伴って、変化を求められる人々の関わり、また、それにかかわる全般的な展望について述べるものとする。コロナ禍における一連の流れを時系列で追いながら、新聞を活用しつつ、そこから得られた情報を元に、一連のできごとをまとめて、今後への展望を記す。

2. 使用教材

日本語：紙新聞・ネット新聞、および英語：ネット新聞を用いて、日々刻々と流れる情報に着目しながら、今後への展望を記す。

2020 コロナ禍における、一連の流れと今後への展望 (オンラインによる交流の活発化と、将来的な見解)

山西 敏博

Impact and Future Prospect during COVID-19 (Active Interpersonal Exchange by the Online and Prospect to Future)

YAMANISHI, Toshihiro

Keywords: COVID-19, Online, Coronavirus' Letter to Humanity
キーワード：新型コロナ、オンライン、コロナから人類への手紙、

1. はじめに

本稿は、2019年度より世界的に猛威を奮った新型コロナウイルス（COVID-19）がもたらした脅威の経緯と、それに伴って、変化を求められる人々の関わり、また、それにかかわる全般的な展望について述べるものとする。

COVID-19は、2019年12月以降、中国湖北省 武漢市に居住する者を中心に発症した新型の病気であると言われている。当初は新型のコロナウイルスであったことから、Novel Coronavirus : nCoV と略記されていたが¹⁾、しだいにこの病を統一した表記とするために、「Corona Virus Disease 2019」の略称として、まとまった呼び名となった。

1.1 日本における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行状況

次に、日本における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行状況について述べる。

2020年1月16日、日本国内初の感染者として、中国武漢への渡航歴のある神奈川県在住の30代の中国籍の男性が報告されている²⁾。

その後、イギリス船籍のクルーズ船・ダイヤモンド・プリンセスが、2020年1月20日に日本の横浜港を出発し、鹿児島、香港、ベトナム、台湾、そして沖縄を周遊して、2月3日に横浜港に帰港した。その途中、その船に乗っていた1月23日から咳などの症状を呈していた80歳の男性乗客が、1月25日に香港で下船した³⁾。この乗客は、下船後の1月30日に発熱をし、下船した香港で、2月1日に新型コロナウイルス菌を保有した陽性者であることが確認された⁴⁾。

さらに、3月1日、厚生労働省はこれまでの集団 感染事例として、スポーツジムでの活動や、屋形船での宴会、ビュッフェスタイルの会食、雀荘での活動などがあったと判断した。これにより「換気の悪い密集空間」（「3つの密：密集・密着・密閉」）に行くことを避けるよう勧告した⁵⁾。

4月3日には国内感染者が3,000人を超え⁶⁾、5月3日になると国内感染者が15,000人を超えた⁷⁾。

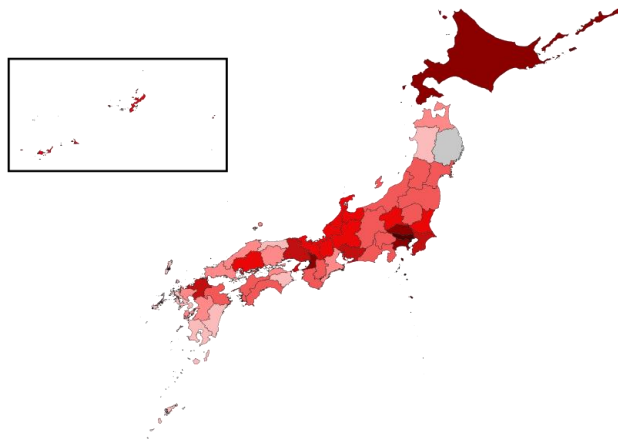
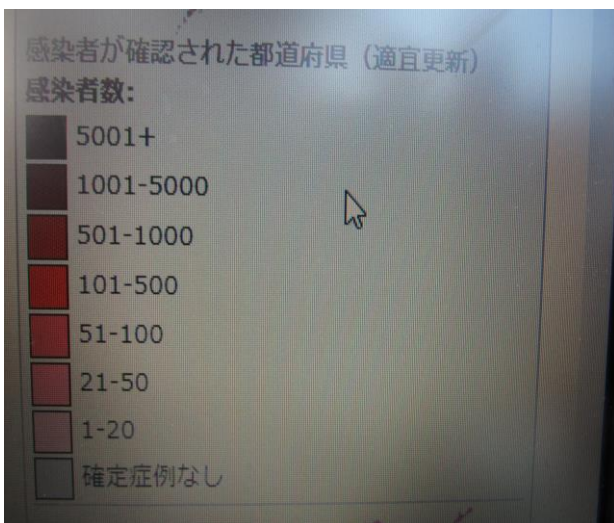


図1 感染者が確認された都道府県感染者数:^[1]



Alexchris, Ythlev (2020)

このように、感染症の患者は継続的に日々刻一刻と報告がなされている。重症度を含めた本感染症のインパクトが不明であること、また、国内での流行がまだ確認されていないことから、接触者調査を実施して、適切な対策を実施することで、感染拡大を防止することが急務となっている。また、高齢者や基礎疾患のある者にこの新型コロナウイルスが感染した場合、重症化する恐れもあることから、患者に対する適切な医療の提供も重要である。なお、現在の時点では、感染源・感染経路についての詳細は不明となっている。

1.2 日本における COVID-19 対策

次に、日本における COVID-19 対策について述べる。

日本医師会は、率先して 2020 年 3 月 30 日、および 31 日の記者会見で、専門家の間における「緊急事態宣言を出したほうが良い」という認識を示した⁸⁾。その見解を受けて、4 月 7 日、安倍首相は「改正新型インフルエンザ等対策特措法に基づく緊急事態宣言」を 7 都道府県に出した。その後、全 47 都道府県への緊急事態宣言に広がり示して、事実上の県内滞在に加えて、県外への往来を自制させた。そういった処置から 48 日後、最終的には 5 月 25 日に、緊急事態宣言は終了した。それに伴い、政府は段階的に社会経済の活動レベルを引き上げていく方針を執った。そして、「新しい生活様式・スマートライフ」といったキャンペーンを立ち上げ、感染拡大防止と経済再生の両立を図っていくことを宣言した⁹⁾。

6月19日、政府は最多感染者数を抱える東京への往来も許可を行い、全都道府県の移動を認める発表を行った¹⁰⁾。

2. オンラインの導入と ICT 活用の問題点・利点

上記のような未曾有の国難ともいえる状況を受けて、直接的な対面による活動が大きく後退、停滞した。それに伴って、オンラインによる活動が活動の中心を占めるようになっていった。

その中で注目を集めるようになっていったのが「ZOOM」であった。ZOOMとは、パーソナルコンピューターやスマートフォンを活用して、セミナーや会合をオンラインで開催するために開発されたアプリケーションである。これを用いて、遠隔操作によって、職場から離れたどのような場所であっても、個人的な対話や複数の人々がコンピュータ上に集い、話し合いができるという道具となっている¹¹⁾。

このZOOMの他、Google社からはHangout Meetが、また、Microsoft社からはTeams、そしてLINE社からはLINEなど、主要8社のアプリケーションソフトが現代社会を跋扈している¹²⁾。

このようなオンライン機器の活用を踏まえて、2020年度の4月からは、国立大71校(82.6%)、公立大58校(55.2%)、私立大536校(65.2%)、高等専門学校43校(75.4%)で、計708校(66.2%)がオンラインによる遠隔授業を導入するという発表を行った¹³⁾。

高等教育機関における学校現場は、このようにおよそ3校に2校がオンラインを活用して授業や講義を行っていくといった実態になっていった。他方、それら进行操作する教員側の問題として、綿密なる研修を受けてのものではなく、見切り発車にて動き出しているところもあることから、機材が使いこなせない、電波状況が思わしくない、双方向の対話がおぼつかないなどの障害報告も多数見受けられた。デジタル・ナレッジ(2020)による調査からの実態報告としては、「学生側のICT環境の整備不足」「教員側の教材作成の過重負担・授業準備の大変さ」「教員のICTに対する対応力」「学生の理解度に対する評価」という、大別して4点の指摘がなされた¹⁴⁾。

このような一連のコロナ禍における緊急の情勢により、全国の大学生も、一律にオンライン授業になってしまったことで、軽度のうつ症状を生じさせてしまったり、中には休学・退学を考え始めている者も出てきたりするようになった。一例としては、立命館大学の在学生への調査で、休学を視野に入れている学生は25.6%、退学は9.8%にもものぼるという報告もなされた¹⁵⁾。

他方、このオンラインが大きく普及していることで、居宅もしくは居住地に居ながらにして、日本国内はもとより、海外の人々とも瞬時に交流を得ることができるようになっていった。一例を挙げる。国内においては、全国7万社に及ぶ企業の経営者が、本来であればその地域の会場に早朝から集い、企業経営に関する倫理哲学を学ぶといった勉強会が全国719会場において、毎日至る所で開催されている¹⁶⁾。通常それぞれの地域にあるホテルなどの会場にて開催されていた早朝の勉強会が、この国難たるコロナ禍において、対面での集会に際しては中断されることになった。

そこでその会を運営する中心となる当局が、対面方式から上記のオンライン会合に全国的に順次切り替えていったところ、普通は現地に赴かなければ会うことができない地域の方々と、オンライン機器を通じて交流ができることになった。すなわち、東京で開催されている早朝会

合に、アメリカ・カリフォルニア州や台湾、中国、そして南米・ブラジルに至るまで、世界各国で企業を営んでいる者たちがオンラインを介して参集するようになったのである。そしてその中で、活発な意見交換が繰り広げられているという実態がある。このような活動に大学生もゲストとして参加をすることが、現在出始めている。そうすることで、とりわけ海外で企業を営んでいる方々との交流や情報を交換し合うことで、日本国内に居ながらにして学生は、企業人との交流を持つことができるようになった。すなわち、それは、文字通り「グローバル」な「人財育成」を図ることができるようになったのである。そのように考えると、日本政府は「新しい生活様式」¹⁷⁾の一環として「テレワークの推進」を推奨してきていることから、今後はよりいっそうの海外との交流がより円滑に図られることが期待されている。そのように考えていくと、人間は新しい環境を順次受け入れていきながら、その新たな環境に慣れていく必要があるのである。

3. コロナから人類への手紙・今後への展望：末章に向けて

これまでの観点から、私たちの日常生活は大きく様変わりしていることが読み取れる。ここからは、表題の通り、「コロナ禍のインパクト」の一環として、「コロナ」という生命体から、人類に向けたメッセージが2020年4月、世の中を席卷した¹⁸⁾。ビビアン・リーチ氏が記したその詞には、下記のようなメッセージが含まれている。それは、「地球は人間界に様々な自然界に対する様々な警告を発したが、人間界はその声に耳を貸さなかった。だが、地球は人間を罰するためではなく、人間たちに目覚めてほしくてやってきた。そして、ついに、世界の軌道を止めた。人間たちに聞かせた。環境の破壊を止めた結果、自然界は再生してきている。そして人間たちは、人生の中で何が重要なのかを熟慮する時間を過ごしている。ぜひとも今こそ、自然環境について、再考してほしい。」といった内容である。

コロナ禍により、日常生活は大きく異なった。前述したように、いまや「新しい生活様式」なる形式も生まれている。本来、対面による対話（Face-to-Face Communication）が人間関係を円滑にしていくうえで、最も大切な対応であるはずなのだが、コロナと共に（With-Corona）生活をしていくことで、この対応に変化が求められている。

上記のビビアン・リーチ氏の詩¹⁹⁾は、そのようなこれまでの人間関係の見直しを図りつつ、人間と環境との共存という新たな関係を築き上げていくことへの願いである、という見方ができる。その一つとして、語呂合わせの一つでもあるが、「コロナ」によって離れていた人間同士のつながりが、その「コロナ」が収まり、再び人間同士の交わりができてくると、それらが集まり「君」になっていくとされている。

私たちの未来が、これまでの生活とは大きく異なっていく、これまで以上に試される時期が来ているのかもしれない。しかしながら、変化を受け入れてこそ、人類は成長して、生き延びていくのかもしれない。

そのような最中、7月4日から7日にかけて、九州北部・中部地域に猛烈な豪雨がもたらされた¹⁹⁾。2019年10月の東日本台風（台風19号）を髣髴とさせる大量の雨が襲ってきた。私たちは大自然に抗うことはできない。しかしながら、いかにして、そのような厳しい自然現象に向き合って、自然と共に生きていくかが命題である。

そして、これまでに記してきたようなコロナによる災害および自然現象による災害という、未曾有とも言える国難が、毎年のように襲ってきている。しかしながら、そのまっただ中であっても、それを前向きに捉えつつ、オンラインを大いに活用していくことで、国際的な交流やメディアの活用を図っていくことができるのである。それにより、様々な不運・不幸を逆転の発想による好機と捉えることで、まさにコロナ禍においても「グローバル社会」を生き抜いていくことができる、素晴らしい人財の育成に、自ら寄与をしていくことができるのである。そして、そのような状況を通して「デジタル時代」における新たなメディア：インターネットの活用にもつながっていくものとする。

「生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。

それは、変化に最もよく適応したものである。」²⁰⁾。

ダーウインのこの言葉をもって、今後への展望とする。

注

[1] 図1 Alexchris, Ythlev. (2020). 感染者が確認された都道府県感染者数

[2] (参考) 英語全文・日本語対訳 含む

Coronavirus' Letter to Humanity

コロナから人間界への手紙

The earth whispered but you did not hear.
The earth spoke but you did not listen
The earth screamed but you turned her off.
And so I was born...

地球はささやきました、しかし、あなたたちには聞こえてはいませんでした
地球は話しかけました、しかし、あなたたちは聞こうとはしませんでした
地球は叫びました、しかし、あなたたちは耳を貸そうとはしませんでした。
そして、だからこそ、わたしはこの世に現れてきました

I was not born to punish you..
I was born to awaken you..

わたしは、あなたたちに罰を与えるために生まれてきたのではありません
あなたたちに目覚めてほしくて、この世に現れて来たのです

The earth cried out for help...

地球は大声で叫んでいます、助けてほしいと

Massive flooding. But you didn't listen.

Burning fires. But you didn't listen.

Strong hurricanes. But you didn't listen.

Terrifying Tornadoes. But you didn't listen.

You still don't listen to the earth when.

大洪水がありました、でも、あなたたちは聞きませんでした
森林をやけつくす大火事がありました、でも、聞いてはくれませんでした
強いハリケーンが吹きました、でも、あなたたちは聞いてはくれませんでした
身のすくむような竜巻が吹き荒れました、でも、耳を傾けてはくれませんでした
いまだに、あなたたちは、地球の声を聞いてくれてはいませんよね。。。

Ocean animals are dying due to pollutants in the waters.

Glaciers melting at an alarming rate.

Severe drought.

海の生き物たちは、水の中の汚染物質によって、次々と命を落としていっています
氷河の融ける速さは、危機的な状況です
深刻な干ばつもあります。

You didn't listen to how much negativity the earth is receiving.

Non-stop wars.

Non-stop greed.

You just kept going on with your life..

地球がどれほどの害を受けているのかを、あなたたちは聞こうとはしませんでした
終わりなき争い
終わりなき貪欲
ただ、あなたたちは、自身の日常生活を送り続けていたのです

No matter how much hate there was..

No matter how many killings daily..

It was more important to get that latest iPhone

then worry about what the earth was trying to tell you..

どれだけの憎しみがそこにあるとも
どれだけの生命が日々失われていようとも

まさに最新版の携帯電話を手に入れることの方が、大切だったのです
その後で、地球があなたたちに伝えようとしていることを心配していたのです

But now I am here.

でも、今、私はここに現れました

And I've made the world stop on its tracks.

I've made YOU finally listen.

I've made you take refuge.

I've made you stop thinking about materialistic things..

Now you are like the earth...

You are only worried about YOUR survival.

そして、世界のやむことない軌道を止めました

私は、ついに「あなたたち」に、耳を傾かせたのです

避難をさせ

物質的なことばかり考え続けることをやめさせ

いま、あなたたちはまるで地球のようになりました

あなたたちがどのように生き延びようとするかだけを、考えているのです

How does that feel?

いま、どのような気持ちがしていますか。

I give you fever.. as the fires burn on earth.

I give you respiratory issues.. as pollution fill the earth air.

I give you weakness as the earth weakens every day.

I took away your comforts..

Your outings.

The things you would use to forget about the planet and its pain.

And I made the world stop...

わたしはあなたたちに高熱を出させます・・・まるで 山火事のように

呼吸器トラブルも与えます、地球の空気が汚れまみれになったように

わたしはあなたたちを弱らせます、地球が日々弱っていくように

私は奪い去りました

あなたたちの快適さや気晴らしの外出を

あなたたちがこれまで忘れていた、地球とその痛みを思い出させ、

そして、世界を止めました

And now...

そして今、

China has better air quality..

Skies are clear blue because factories are not spewing pollution unto the earth's air.

中国の大気汚染は改善しています
空は青く澄んでいます 工場から地球の大気への排出がなくなっているから

The water in Venice is clean because the gondola boats that pollute the water are not being used.

ベニスの水は澄んでいます
水を汚していたゴンドラが、もう動いていないから

The earth's ozone layer is healing due to the pause of movement our planet has taken.

オゾン層は回復し始めています、この惑星上の動きがいったん停止しているから

There is less noise pollution in big cities.

大都市での騒音公害は少なくなっています

Oceans are quieter because there is less ships sailing through.

海は静かになりました、運航する船が減ったから

There is an abundance of fish and food like never before since more restaurants are closed.

かつてなかったような魚と食物の豊かさがあるのです。多くのレストランが閉まったから

And.....

YOU are having to take time to reflect on what is important in your life.

Again I am not here to punish you..

I am here to Awaken you...

そして、、、

あなたたちは、人生で何が重要なのかを熟慮する時間を過ごしているのです
繰り返します、私がここにいるのは、あなたたちに罰を与えるためではないのです

目覚めてほしいのです

When all this is over and I am gone...

すべてが終わり、わたしが去る時

Please remember these moments..

Listen to the earth.

Listen to your soul.

Stop Polluting the earth.

Stop Fighting among each other.

これまでの瞬間を思い返してください

地球の声を聞いてあげてください

あなたたちの、魂の声も

地球を汚すのをやめてください

互いに争うことも

Stop caring about materialistic things.

And start loving your neighbors.

Start caring about the earth and all its creatures.

Start believing in a Creator.

物質的なものを大事にすることをやめ

周りの人たちを大切にしてください

地球を大事にし、地球上の命あるものすべてを大切にしてください

創造主を信じ始めて下さい

Because next time I may come back even stronger....

そうでないと、私は、今までよりも強力になって、再び戻ってくるでしょうから・・・

山西敏博 訳

引用・参考文献

- 1) 新型コロナウイルス（Novel Coronavirus：nCoV）感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領（暫定版） 国立感染症研究所 感染症疫学センター.(2020).
令和 2 年 1 月 21 日版 <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000587893.pdf>（2020年6月30日閲覧）
- 2) 日本放送協会.(2020). "中国 武漢の肺炎 国内で初 確認 武漢に渡航した男性から 厚労省". *NHK NEWS WEB*. 2020 年 1 月 16 日 時点のオリジナルよりアーカイブ。2020 年 6 月 30 日閲覧。
- 3) 国立感染症研究所.(2020). 現場からの概況：ダイヤモンド・プリンセス号における COVID-19 症例” 2020 年 6 月 30 日閲覧。
- 4) 福井新聞.(2020). “新型肺炎、クルーズ船乗客の数人発熱 ダイヤモンド・プリンセス横浜で検疫 | 社会,医療 | 福井のニュース”. 2020.2.3 2020 年 6 月 30 日閲覧。
- 5) 厚生労働省.(2020). 新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために
- 6) NHK .(2020). 国内感染者数 3000 人超 新型コロナウイルス 2020 年 6 月 30 日閲覧。
- 7) 朝日新聞.(2020). 「国内感染 1 万 5 千人超す 新型コロナ、死者は 536 人に」 2020.5.3. 2020 年 6 月 30 日閲覧。
- 8) 読売新聞.(2020). 「日本医師会、緊急事態宣言を要望...油断すると欧米と同じような状況に」 2020.4.1. 2020 年 6 月 30 日閲覧。
- 9) 内閣官房.(2020). 新型コロナウイルス感染症対策
- 10) 東京新聞.(2020). 「都道府県境またぐ移動、全面解除 イベントの上限も千人まで緩和」 2020.6.19. 6 月 30 日閲覧。
- 11) ZOOM Academy Japan.(2020). 「ZOOM ってなに？」
https://zoomy.info/manuals/what_is_zoom/（2020.7. 2 アクセス）
- 12) Business Insider .(2020). 【2020 年 7 月版】 オンライン会議アプリ 8 種を比較。
- 13) 文部科学省.(2020). 2. 遠隔授業の活用に関する検討状況について「新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等の対応状況について」
https://www.mext.go.jp/content/202000513-mxt_kouhou01-000004520_3.pdf
(2020.7.2 アクセス)
- 14) 株式会社デジタル・ナレッジ.(2020). 3. 本調査結果のポイント「オンライン授業、実際に実施して見えてきた課題とは？」 大学におけるオンライン授業の 緊急導入に関する調査報告書 東京：eラーニング戦略研究所.https://www.digital-knowledge.co.jp/wp-content/uploads/2020/07/onlineclasses_report.pdf（2020.9.16 アクセス）
- 15) 共同通信.(2020). 「立命大生、1 割が退学を視野に 休学は 4 分の 1、学生新聞調査」
<https://news.yahoo.co.jp/articles/c21f2fa167cbce2bcd68926178db7e898ff90203>
2020.8.19.（2020.9.16 アクセス）
- 16) 倫理研究所.(2020). 「経営者モーニングセミナー」<https://www.rinri-jpn.or.jp/houjin/#gr-1>（2020.7. 21 アクセス）

- 17) 厚生労働省.(2020). (4) 働き方の新しいスタイル 「健康・医療 新型コロナウイルスを想定した『新しい生活様式』の実践例を公表しました」
- 18) Reich, Vivian. (2020). Coronavirus' Letter to Humanity
- 19) NHK.(2020). 「記録的大雨 熊本県で 49 人死亡 1 人心肺停止 11 人不明 捜索続く」7月7日
閲覧。
- 20 Darwin, Charles.(1839). 種の起源